

TICAD IVに向けて



1. 現状認識

(肯定的な兆し)

- アフリカの自助努力を通ずる平和の定着及び、民主化の進展、一層の安定
- アフリカ全体として有望な経済見通し

(課題)

- 貧困、食糧不足、HIV／エイズ、結核、マラリア等の感染症などは依然深刻な問題
- 環境問題及び気候変動への対処は新たな課題
- 圧倒的に若年人口が多い人口構成は、多くのアフリカ諸国にとって大きな困難(同時に利点にもなり得る)
- 幾つかの国・地域では、政治的安定、人権、民主化・民主的統治の面で問題が残存

(オーナーシップの進化とパートナーシップの拡大)

- AU/NEPAD及びRECsの役割及びイニシアティブの重要性増大
- 国際社会におけるアフリカ及びアフリカ開発への関心はかつてないレベルにまで高揚(新興ドナー諸国、民間セクター、主要な財団等の関与を含む)



2. 基本メッセージ

「元気なアフリカを目指して: 希望と機会の大陸」

3. TICAD IVの重点事項

●成長の加速化

現在好調であるアフリカの経済成長を持続的でかつ貧困者をも幅広く裨益するものとするための支援を強化

(貿易投資、インフラ整備、農業の各分野を含む)

●「人間の安全保障」の確立

- MDGs達成支援
- 平和の定着、民主化支援強化等

●環境・気候変動問題への対処

アフリカは気候変動に最も脆弱な大陸: 環境、特に気候変動への適応問題への取組を支援し、成長への障害を除去



国際社会の知恵と資金を結集



4. 手法・アプローチ

● 以下の四分野で取組を呼びかける

- ① 成長の加速化
- ② MDGs達成
- ③ 平和の定着と民主化
- ④ 環境・気候変動問題への対処

(注)

- - 相互の連関、相乗効果が重要
- - 可能な限り持続的成長を促進

● 横断的要素

- - AU/NEPAD、地域経済共同体及び(新興ドナーを含む)二国間・多国間ドナーとの連携強化
- - アジアの経験の活用: 南南協力、三角協力作りわけアジア・アフリカ協力及びアフリカ内協力の支援
- - 人的資源開発、統治能力向上、コミュニティ能力強化
- - アフリカ諸国の多様性: 各国別の対応が必要
- - ガバナンス改善と法の支配促進支援
- - 民間セクター、財団、市民社会団体との連携

(参考)



TICAD IVに向けての流れ

2003 第三回アフリカ開発会議(9/29-10/1 東京)

- 2004 TICAD アジア・アフリカ貿易投資会議(11/1-2 東京)
- 2006 TICAD 平和の定着会議(2/17-18 アディス・アベバ)

2007

- 3月 TICAD 持続可能な開発のための環境とエネルギー閣僚会議
(3/22-23 ナイロビ)
G8 開発大臣会合 (3/26-27 ベルリン)
- 5月 G8 外相会合 (5/30 ポツダム)
- 6月 G8 ハイリゲンダム首脳会合 (6/6-8)
- 7月 AU総会(7/1-3 アクラ)
- 秋(- 2008 春) TICAD IV 関連準備会合及びG8関連会合

2008

- 1月 AU総会
- 4月 G8 開発大臣会合
- 5月28-30 第四回アフリカ開発会議 (野口英世アフリカ賞第一回授賞式)
- 6月 26-27 G8 外相会合
- 7月 7-9 G8 北海道洞爺湖サミット